

「環境トピックス」

第2回 : 「環境問題に無関心でられない日本」

2017年2月26日掲載

1945年の終戦以来、日本は順調な成長を続け、現在に至るまでには度々の地震や台風と言った自然災害、石油ショックやリーマンショックなどを経験しましたがまずは順調な成長を維持してきました。

1970年ころには成長優先でいろんな公害が社会問題になった時期がありましたが、それを乗り越えて成長が続いています。

しかし順調で安定した社会ではありますが、環境の問題には無関心ではられない実情です。

右の図は主な物資の輸入割合です。

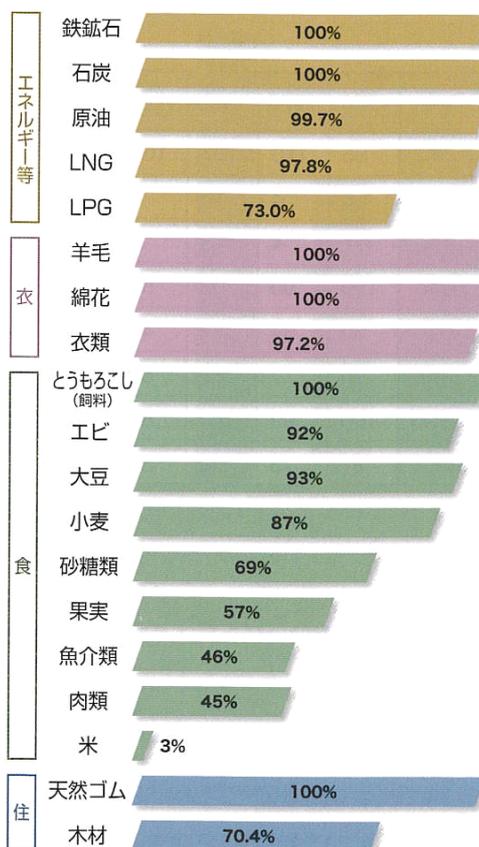
例えば「食」、米だけが例外ですが、小麦やとうもろこし（牛、豚、鶏などのエサです）など、もしこれらが異常気象などで収穫が大きく減ったら私たちの食事の内容に大きな影響が生じます。

また、エネルギーの原材料である原油、天然ガス、石炭などもほぼ全てが輸入に依存している。かつての石油ショックの際には不便な生活を送らざるを得なくなった時期がありました。

これらの原材料はすべて海を渡って日本に届きます。

みなさんも、これから環境の問題は身近な自分の問題として受け止めて下さい。

主な物資の対外依存度



第1回 : 「環境トピックス」欄を新たに設けました。

2017年2月16日掲載

この度、協会ホームページに「環境トピックス」欄を設け、これまでの安全啓発事業に加え、皆様に環境問題への関心を持って頂き、理解を深めて頂くようお願いの意味で、今後継続的にトピックを紹介して行きます。



環境の問題は非常に幅の広い分野ですが、ここでは対象を海をメインにテーマを選んでお届け致します。

地球環境に大きな影響を与えている海、その上を覆う大気と合わせて、四季に合わせて天気に変化し、自然環境を形作っています。

海は、古来から人と物の移動の道、また魚類、貝類など食料取得の重要な場でしたが、加えて、今も我が国の貿易ルートとしてエネルギー源や食料の輸入、日本製商品の輸出に欠かせない大きな働きをしています。

今、地球全体に環境の悪化が急速に進んでいると懸念される状況にあり、例えば温暖化による海面の上昇、水産資源の漁獲の現象などがあり、このままでは持続可能な社会の維持ができないとの懸念からいろいろな国際機関、また各国政府も大きな温度差はありますが対策に乗り出しています。